

保育士

土田 璃星

鳥海学園
(令和4年度採用)

児童の成長を近くで見られた時にやりがいを感じます

ある一日の流れ



8:30

登校支援

9:00

環境整備

9:30

引継ぎ

10:00

事務作業(記録の作成、
個別支援計画の作成など)

12:00

休憩(昼食)

13:00

事務作業

14:00

下校支援

15:15

日課支援(入浴支援、登校
準備、余暇支援など)

17:10

掃除

17:15

業務終了

子どもたちの笑顔を守るプロフェッショナル

現在の担当業務は

福祉型障がい児施設での、入所児童の健康管理や情緒の安定を図りながら、基本的な生活習慣、独立自活に必要な知識や技能を身に付けられるように支援をしています。また、短期入所や日中一時をご利用される地域の児童の療育、学園行事の立案・計画を行っています。

県職員を選んだ理由は

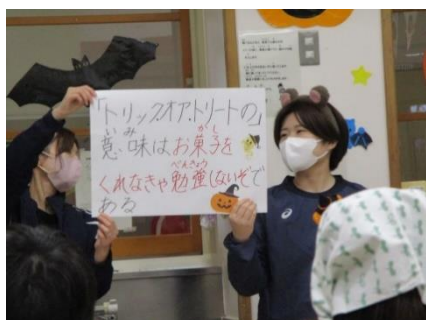
障がい児保育についての知識を深めたいと考えた時、自分の考える条件に合っていたのが県職員でした。福利厚生や休暇制度なども選んだ理由の一つです。

県職員になって良かったことは

児童の支援をする上で、どうすればよかったのかと悩むことが多いですが、児童の成長を近くで見られた時はやりがいを感じます。悩みは尽きませんが児童と一緒に楽しみながら充実した日々を過ごしています。

ワーク・ライフ・バランスは

休みの日は家族や友人と旅行に行ったり k-pop のライブに行ったりして、自分の好きなことをすることでリフレッシュしています。



ハロウィンイベント



クリスマスイベント

